

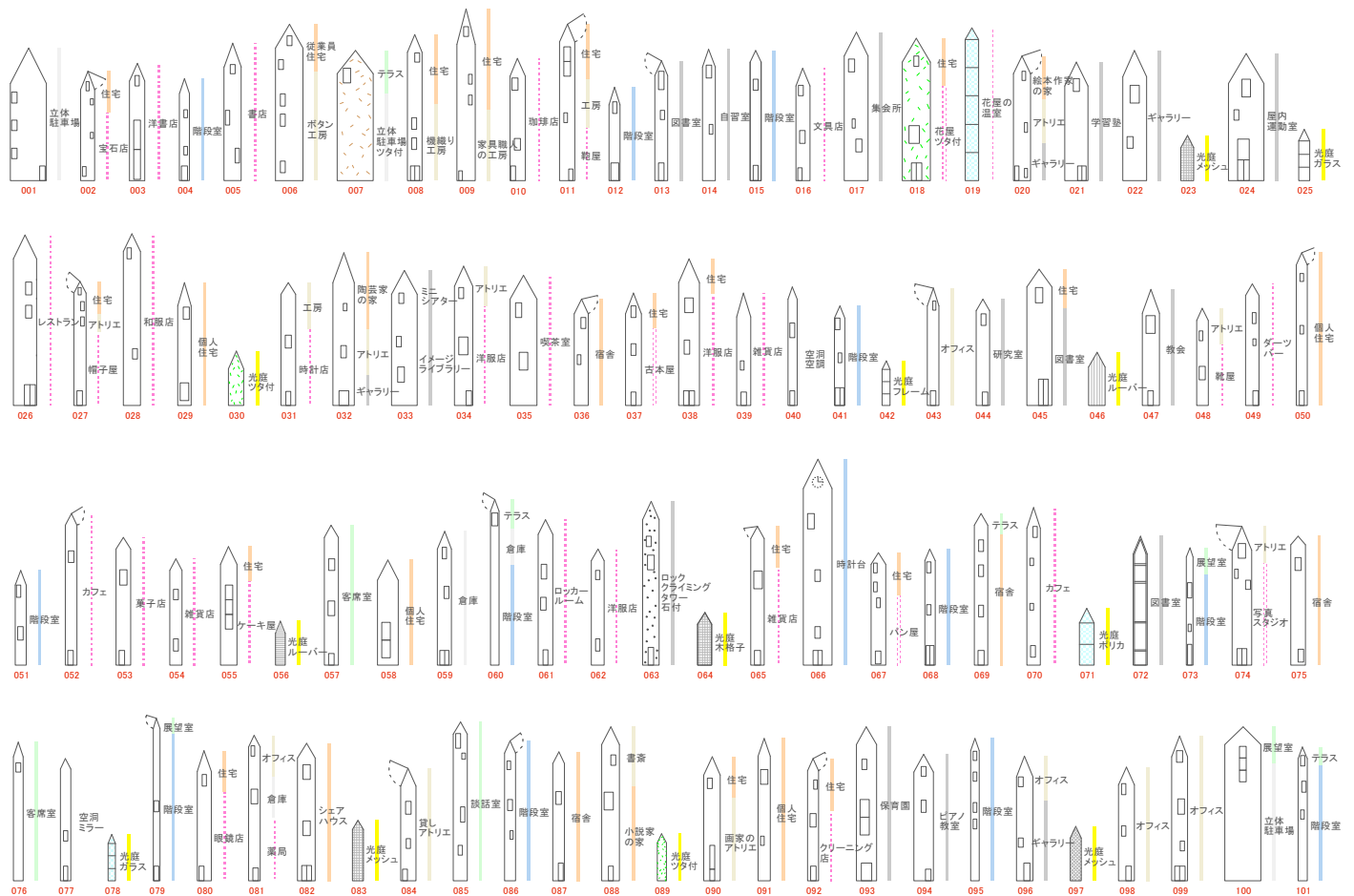


隙間の集落 一部屋のスケールと都市のスケールの間で、街歩きするように行き来しながら生活する場所

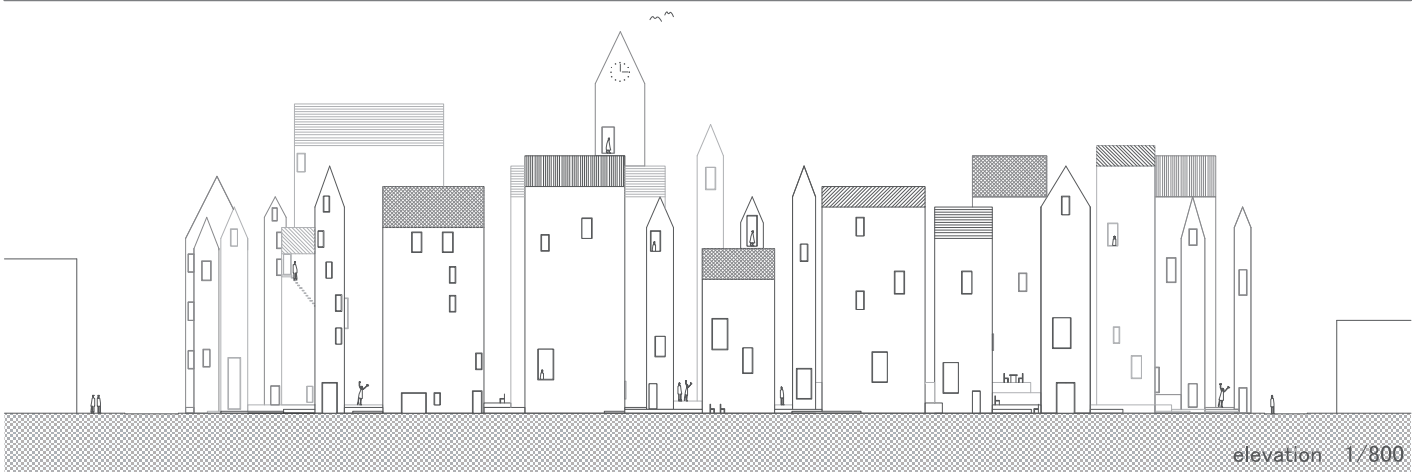
南青山にある敷地は住宅地と商業地域の境目に位置しています。境目を縫うように住宅地の路地と商業施設の高さを反映し様々な機能を配して、路地のような隙間を開けながら101棟の背の高い小さなビルを建てます。一部屋程度のビルは都市の中に部屋が散らばるように感じ、細く背の高いシルエットは高層ビルの摩天楼のように見えます。地階では自由に歩き回り、登るにつれ都市から個人の場所となります。路地の谷間では距離が近く、様々な物が目に入り歩き出したいくなります。気に入った場所を見つけながら街を歩き、都市の中で落ち着けるリビングのような場所が増えていきます。そして人がより身近に都市を感じ、楽しめる関係を探せる場所となります。



敷地のある南青山は大規模商業施設から住宅そして緑地など様々なものが混在しています。 site plan



様々なプロポーションの101棟の背の高い小さなビルがそれぞれの機能を持っています。 elevation diagram





レベル差のない中庭のような広場です。



隙間を抜けて行くと、大きめの広場があります。
そこからいくつもの街角が見えます。



ガラス張りのビル越しに向こう側の景色が見えます。



パラバラと配されたビルによって路地を演出します。

